

みずほCustomer Desk Report 2023/02/10号 (As of 2023/02/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	131.63
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	131.40	1.0717	140.82	1.2071	0.6932
SYD-NY High	131.83	1.0791	141.42	1.2193	0.7011
SYD-NY Low	130.34	1.0707	140.50	1.2064	0.6922
NY 5:00 PM	131.53	1.0739	141.28	1.2119	0.6937

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	33,699.88	▲ 249.13	日本2年債	▲0.0400%
NASDAQ	11,789.58	▲ 120.94	日本10年債	0.4900%
S&P	4,081.50	▲ 36.36	米国2年債	4.4831%
日経平均	27,584.35	▲ 22.11	米国5年債	3.8595%
TOPIX	1,985.00	1.03	米国10年債	3.6627%
ソコ日経先物	27,560.00	140.00	独10年債	2.3040%
ロンドンFT	7,911.15	25.98	英10年債	3.2865%
DAX	15,523.42	111.37	豪10年債	3.6670%
ハンセン指数	21,624.36	340.84	USDJPY 1M Vol	12.32%
上海総合	3,270.38	38.28	USDJPY 3M Vol	12.84%
NY金	1,878.50	▲ 12.20	USDJPY 6M Vol	11.71%
WTI	78.06	▲ 0.41	USDJPY 1M 25RR	▲0.99%
CRB指数	270.48	▲ 0.45	EURJPY 3M Vol	12.04%
ドルインデックス	103.22	▲ 0.19	EURJPY 6M Vol	11.41%
			Yen Call Over	0.02%
				▲0.01%

東京	東京時間のドル円は131.40レベルでオープン。実需のドル買いから仲値付近には一時131.83まで上昇する場面も見られたが、流れが一巡すると131円台半ばまで反落。その後しばらくは動意を欠いた推移が続く中、日銀総裁の後任人事に関する報道があると、瞬間的に130.75まで下落後、すぐに値を戻すなど大きく上下動。ただ水準は大きく変わらず、結局131.17レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、131.17レベルでオープン。本日も全般にドル売り継続。市場はリスクオンモード。一時130.67まで売られ130.81レベルでNYに渡った。なおスウェーデン中銀が予想通り0.50%利上げで政策金利を3.00%とし、QTの開始などを材料にクローナが買われた。
ニューヨーク	海外市場のドル円は131円台半ばでスタート。特段手掛かり材料は見当たらなかったが、東京仲値にかけて買いが強まり、一時131.83まで上昇するも、すぐに131円台半ばまで反落。その後、日銀総裁人事の観測報道に売りで反応するも下に往ってこい。しかし、米金利が伸び悩む中、次第にドル売り優勢となり、130.67まで下押し、130.81レベルでNYオープン。朝方は米失業保険の新規申請件数や継続受給者数が市場の予想を上回ったほか、米長期金利が低下したことを受けてドル売りが強まり、一時130.34まで下落。しかし、米長期金利が持ち直すとドル円も買いに転じ、131円ちょうど付近まで反発。午後は前日好調な結果を見せた米10年債利回りとは対照的に30年債入札が軟調な結果となり、米金利上昇とともにドル買いの流れは継続。終盤には高値131.65をつけ、結局、131.53レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。ドイツの1月CPIが予想を下回り、売りで反応する場面もあったが、欧州株の堅調推移がユーロ買い・ドル売りをサポート。一時1.0778まで上昇後、1.0769レベルでNYオープン。朝方は米金利低下にサポートされ、1.0791まで上昇するも、1.08レベル回復には至らず。その後は米金利の反転上昇を受けて、ドル買い優勢となり、1.0732まで下落。終盤も上値の重い推移となり、結局、1.0739レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・西

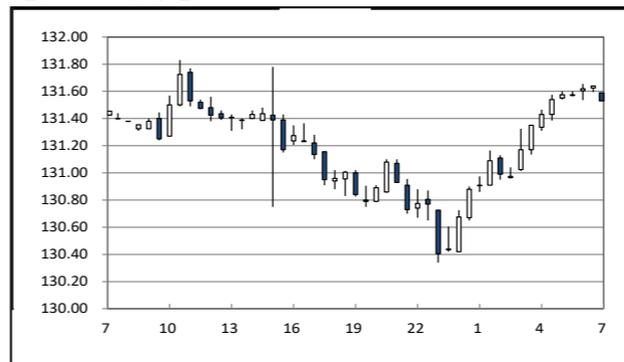
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月9日	16:00	独 CPI(前年比/前月比)・速報	1月 8.7%/1.0%	8.9%/1.0%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	4-Feb 196k	190k

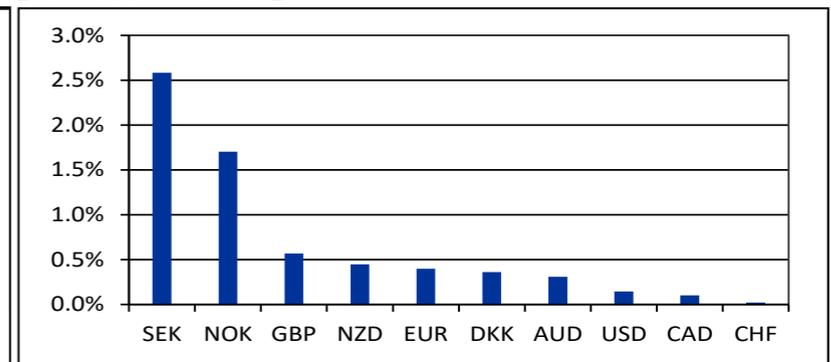
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月10日	10:30	中 CPI(前年比)	1月 2.1%	1.8%
	16:00	英 鉱工業生産(前年比/前月比)	12月 -5.2%/-0.2%	-5.1%/-0.2%
	16:00	英 製造業生産(前年比/前月比)	12月 -6.1%/-0.2%	-5.9%/-0.5%
	16:00	英 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q P 0.0%/0.4%	-0.3%/1.9%
2月11日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	2月 65.0	64.9
	06:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.50-132.00	1.0680-1.0780	140.30-141.50

【マーケットインプレッション】

前日のドル円は下に行ってこい。東京時間は131.40レベルでオープン。日銀総裁の後任人事に関する報道により大きく上下動する場面も見られたが、水準は変わらず。海外時間入り後は特段材料がないもののドル安が進む中、新規失業保険申請件数が予想比増加すると一時130.40まで下落。ただその水準で下げ止まると、その後はじりじりと値を戻し、結局オープンと同水準の131.53レベルでクローズした。市場の注目が来週の米CPIに移っている中、本日も方向感の出づらいつながりが継続。米国時間のミシガン大学消費者マインドの結果次第では、多少値幅が出ることも想定されるが、大きなインパクトはないだろう。材料難の中、同水準でのレンジ相場を基本線としつつも、日足の転換線をバックに底堅い推移となることを予想する。